

〔正賞 社会文化部門〕

1. 氏名 じゅうよんだい いまいずみ いまえもん
 十四代 今泉 今右衛門 氏
2. 年齢 63歳
3. 肩書 陶芸家
4. 住所 佐賀県有田町

※年齢は2026年11月3日時点



【受賞理由】

江戸時代に生み出され、日本の焼き物の最高峰ともいえる「色鍋島」の伝統を守りつつ、父の十三代今泉今右衛門氏が確立した吹墨、薄墨を重ね合わせる「吹重ね」の技法をさらに進化させ、白地に白抜きの「雪花墨はじき」を確立した。江戸時代の「銀彩」を現代的に発展させた「プラチナ彩」にも取り組むなど、2014年に51歳で色絵磁器の重要無形文化財保持者（人間国宝）となった後も新たな挑戦を続けている。

作家としての活動だけでなく、日本工芸会副理事長として日本の伝統工芸全般の発展にも寄与するほか、有田町にある今右衛門古陶磁美術館の館長として歴代今右衛門が蒐集した古伊万里や鍋島などを研究、公開。有田のみならず、陶芸界をさらにけん引していくことが期待される。

【主な経歴】

1985年	武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科（金工専攻）卒業
1996年	日本伝統工芸展初入選
1997年	日本陶芸展入選（～2013）
1998年	日本伝統工芸展 日本工芸会会長賞受賞 正会員に推挙
2002年	十四代今泉今右衛門を襲名。色鍋島今右衛門技術保存会会長となる
2008年	西日本陶芸美術展 優秀賞受賞
2010年	第1回金沢・世界工芸トリエンナーレ 招待出品
2012年	日本陶磁協会賞受賞／十三代～十四代 今泉今右衛門 色鍋島の粋（菊池寛実記念智美術館）
2013年	Contemporary KOGEI Styles in Japan 現代の日本工芸展 招待出品（森上博物館 アメリカ・マイアミ）
2014年	有田陶芸協会会長に就任／重要無形文化財「色絵磁器」の保持者（人間国宝）に認定
2017年	「今右衛門の色鍋島」展（山口県萩美術館・浦上記念館、他3ヶ所。～2018年）
2018年	佐賀県陶芸協会会長に就任／日本陶芸美術協会会長に推挙 「ジャポニスムの150年」展 招待出展（装飾美術館 フランス・パリ）
2019年	EXHIBITION OF JAPANESE ART 日本美術展（現代ギリシャ文化博物館）
2020年	日本工芸会 副理事長に推挙
2021年	高島屋創業190周年「悉皆一風の時代の継承者たち」展 出品（日本橋高島屋、他4か所。～2022年） 「未来へつなぐ陶芸 伝統工芸のチカラ」展 招待出品（パナソニック汐留美術館、他7ヶ所。～2023年）
2022年	ホモ・ファーベル展2022年 招待出品（イタリア・ベネチア） フランスのクリスタルブランド、パカラ社との共同制作「Baccarat meets IMAEMON II」を発表
2023年	日本陶磁協会賞金賞受賞